

よいち町

2025.9
No.216

議

会



だ

よ

い



農業体験学習（総合的な学習の時間）

※写真は東中学校2年生の様子

第2回定例会・第4回臨時会の審議結果

○主な審議結果 P 2～4

- ・余市町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案など5件の条例案を可決
- ・ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める要望意見書など7件の意見書を可決

○常任委員会の動き P 5～6

○一般質問 P 7～9

- ・6議員が町政全般について10項目を質問

○議員派遣型の懇談会“どこでも余市町議会”を開催します

P 10

- ・開催を希望する5名以上の団体を募集します。

審 議 内 容

令和7年第2回定例会 第4回臨時会

令和7年6月23日～25日に開催の第2回定例会での審議結果、5月27日開催の第4回臨時会の審議結果についてお知らせいたします。

人 事

案 件

□人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

任期満了に伴い、相坂圭子氏を再任することに同意しました。

補 正

予 算

一般会計

□令和6年度一般会計補正予算(第12号)【専決処分】
総額4億1003万円を追加

◆主な補正内容

○寄附に伴う各種基金積立金
4億2745万円

○ふるさと納税取扱業務委託料
4250万円

○各特別会計の決算見込みによる精算
・介護保険特別会計繰出金

△2915万円

・国民健康保険特別会計繰出金
△546万円

・後期高齢者医療特別会計繰出金
△517万円

・水道事業会計負担金
7万円

□令和7年度一般会計補正予算(第1号)

総額5億8897万円を追加

◆主な補正内容

○寄附に伴う各種基金積立金
5億33万円

○再生可能エネルギー導入調査委託料
4572万円

○Jアラート受信機更新委託料
806万円

○お米購入支援助成金
1920万円

○障害福祉システム改修委託料
162万円

○資源物分別収集運搬処理委託料
464万円

○新規就業支援助成金
100万円

特別会計

□令和6年度介護保険特別会計補正予算(第3号)【専決処分】
総額1億8601万円を減額

◆主な補正内容

・保険給付費、地域支援事業費の確定見込みによるもの

□令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)【専決処分】
総額3億5303万円を減額

◆主な補正内容

・総務費、保険給付費、国民健康保険事業費納付金の確定見込みによるもの

□令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)【専決処分】
総額1025万円を減額

◆主な補正内容

・総務費、後期高齢者医療広域連合納付金の確定見込みによるもの

□令和6年度水道事業会計補正予算(第6号)【専決処分】

総額7万円を追加

◆主な補正内容

・一般会計補助金の確定等によるもの

□令和6年度下水道事業会計補正予算(第5号)【専決処分】
総額756万円を追加

◆主な補正内容

・一般会計補助金の確定等によるもの

反 対 討 論

ジャストミートあたる議員

専決処分事項の承認を求めることについて(令和6年度一般会計補正予算(第12号))について反対討論させていただきます。
入湯税が記されておらず町民に対する説明責任を果たしていないことに私は大変疑念を覚えています。5年たっても3月末締めで収まらなかったものがここに表れていると思うのですが、それに対して進捗もないし説明もできないということなので、これは町民に対しての説明がなっていない専決だと思っています。町民への説明を優先していただきたいと思います。

反対討論

ジャストミートあたる議員

令和7年度一般会計補正予算（第1号）に対して反対討論させていただきます。まず、クーポンは無駄が多い。郵便代、印刷代、職員の事務の手間、小売の手間、そして入金の手間、全部いらない手間です。コロナ禍において水道料金減免がされて、システム改修ができていないということで事務負担が1番少ないのは水道料金減免です。一括で減免できるので公平性もあり非常に高効率です。お米券を持って買いに行く消費税が取られ、合計で郵便代も含めて200万円ほど国庫に返っていきます。しかし水道料金を減免して補填すると消費税はかかりません。浮いたお金で何か買ってくださいというほうが自由度が高く、医療費に全部使えば消費税はゼロになり2300万円満額、町民のためになります。これが水道料金を減免を推す理由です。

ういった面でも負担がかかるところにさらに負担をかけて本当にうまくいくのか。大丈夫ですかと聞いたらず必ず大丈夫だと言うのです。結果できませんでしたと後になるのが世の常です。米屋、生協、イオンに行っても米は潤沢にあります。これ以上恩恵はいらないのではないでしょう。クーポンは需要喚起に使われるものであって既に米の需要は高いです。果たして公平公正なのか。一部のところに資金が回って不公平にならないようにしなければいけない。

一方、水道料金の改定はしばらくなく、インフレの影響が少なくないので費用対効果はこちらが上です。浮いた金額を自由に使うてもらおうほうが物価高騰対策としては選択の幅が広がり、米の需要をこれ以上刺激しないということになります。

ゆえにクーポンによる支援はやめるべきです。自民党のこれ以上の米スティックバイオレンスは断固として反対すべきです。

条例案

□余市町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例案

関係法令の改正に伴い、所要の改正を行いました。

□余市町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案

関係法令の改正に伴い、選挙長、投票管理者、開票管理者、立会人の報酬の改正を行いました。

□余市町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案

A L T の給与月額の改正を行いました。

□余市町国営土地改良事業負担金等の徴収に関する条例の一部を改正する条例案

関係法令の改正に伴い、所要の改正を行いました。

□余市町の高齢者障害者等の移動等の円滑化の促進に係る特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

関係法令の改正に伴い、所要の改正を行いました。

その 他	の 案件
---------	---------

□工事請負契約の締結について

○令和7年度町営住宅黒川団地
外壁改修工事（東棟）

契約金額 6039万円

工期 自 令和7年5月29日
至 令和7年11月28日
請負業者 中山建設株式会社

○令和7年度重要給水施設配水管更新工事

契約金額 9614万円

工期 自 令和7年5月30日
至 令和8年2月10日
請負業者 堀川・高橋特定共同
企業体

○令和7年度除雪作業車等保管倉庫建設工事

契約金額 2億471万円

工期 自 令和7年6月3日
至 令和8年3月27日
請負業者 赤石・中山特定共同
企業体

□町有財産の取得について

○余市町立小中学校情報機器取得

価格 5964万5300円
取得先 東日本電信電話株式会社

反対討論

ジャストミートあたる議員

米価の抑制及び米の安定供給を求める要望意見書に対して反対討論をいたします。1970年から減反と転作支援を維持する補助金が配られるということが生産調整政策、減反政策として行われています。転作奨励というところで2018年で一応終わりましたが休耕・転作に対して補助金が出ています。これは実質減反の継続と私は見ています。転作奨励金持続ということでは転作支援継続と取れるのです。現状の米不足は減反から始まっていると思います。安定供給の現況を根本から直さなければいけない。そういった面ではこれはまだまだ不足が多いということとで反対いたします。

議案に対する各議員の賛否一覧

各議員の賛否結果が分かれた案件（欠席・退席含む）を掲載しています。

第2回定例会 議案に対する各議員の賛否一覧表

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席

件名	審議結果	明政会						よいち未来					公明党		会派に属さない議員	
		佐藤剛司	内海富美子	庄巖龍	中井寿夫	伊藤正明	茅根英昭	山本正行	尾森加奈恵	岸本好且	川内谷幸恵	土屋美奈子	白川栄美子	寺田進	あじストミート	大物翔
令和7年度一般会計補正予算 (第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

第4回臨時会 議案に対する各議員の賛否一覧表

専決処分事項の承認を求めることについて（令和6年度余市町一般会計補正予算（第12号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※藤野博三議長は採決には加わりません。

要望意見書の審議結果

第2回定例会で提出のあった意見案についてお知らせします。

件 名	議案の提出者	審議結果	意見書の提出先
ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長・参議院議長
北海道最低賃金改正等に関する要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	北海道労働局長
事前復興まちづくり計画の策定支援を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣、国土交通大臣
地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣
米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣
地方財政の充実・強化に関する要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣
米価の抑制及び米の安定供給を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣、農林水産大臣
インボイス制度の廃止を求める要望意見書	土屋美奈子議員ほか 3名	否 決	

※全会派の同意が得られた要望意見書は議会運営委員会の委員が提出者となっています。

常任委員会の動き

【総務産建常任委員会】

閉会中における各常任委員会の活動状況について、主要な調査事項などをお知らせします。
各常任委員会の記録は、町立図書館に配置しておりますので、ご利用ください。

役場庁舎整備の検討について調査を行いました。

【第20回】

(令和7年4月25日開催)

○令和7年度町道側溝布設及び舗装工事について(所管事務)

令和7年度の工事予定箇所について現地調査を行い、路線ごとの工事内容の説明を受け、現地調査終了後に審議しました。

〔他の審議案件〕

(報告案件)

○余市港機能向上計画の策定について

○余市町住生活基本計画の策定について

○余市町公営住宅等長寿命化計画の策定について

○余市町地域公共交通計画の策定について

○余市町デジタル田園都市構想総合戦略の策定について

○地域計画の策定について

【第21回】

(令和7年5月21日開催)

○役場庁舎整備の検討について(所管事務)

(報告案件)

検討委員会でもとめられた庁舎の現状、利便性、耐震性、設備の老朽化に関する資料が提出され、現庁舎の大規模改修は基本的な構造の変更が難しいこと、

バリアフリーに対応したエレベーターの設置ができないことなどから現実的な手法ではなく、建て替え、または移転と考える

おり、建て替える場合と移転する場合の整備手法の比較、庁舎整備の基本方針について説明を受け、今後のスケジュールについて審議しました。

〔他の審議案件〕

(所管事務)

○統一的な基準に基づく令和5年度連結財務諸表について

○令和6年度除排雪等実績報告について

(報告案件)

○令和6年度における余市町情報公開条例の運用状況について

○下水道広域化推進総合事業について

○雨水出水浸水想定区域の指定及び浸水想定区域図の作成について

○北しりべし定住自立圏共生ビジョンについて

○余市宇宙記念館運営状況について

【第22回】

(令和7年6月13日開催)

○6次産業化推進に係る取り組み状況について(所管事務)

特産品のPR・広報活動、6次産業化支援など、6次産業化の推進に係る令和6年度に実施された事業の実績について説明を受け、審議しました。

○お米購入支援助成金事業について(報告案件)

国から交付される物価高騰対応重点支援地方交付金を財源に、長引く物価高騰による家庭への経済的影響を緩和するとともに、家庭内消費が減少傾向にある主食用米の需要喚起を図るために令和7年8月1日から令和7年12月31日まで利用可能な町独自のお米クーポン券を発行する旨の報告を受けました。

〔他の審議案件〕

(報告案件)

○U・I・ターン新規就業支援事業について

○ふるさと納税について

○余市町再生可能エネルギー導入事業化調査について

○外部人材の活用状況について

(報告案件)

○北海道防災総合訓練における余市町の取組みについて(報告案件)

○北北海道防災総合訓練において、本年は、後志総合振興局管内で行われることになり、これに併せて本町としても防災訓練を行うこととし、訓練内容は、①、趣旨に賛同する全町民を対象にした身の安全を守るための行動訓練、②、大川町1丁目から7丁目の町民を対象にした津波避難訓練、③、本町の防災担当職員を対象にした緊急速報メール伝達訓練で、令和7年8月27日に実施する旨の報告を受けました。

〔他の審議案件〕

(所管事務)

○余市町公共下水道事業経営戦略の改定について

(報告案件)

○フィッシャリーナ施設内船舶移動に伴う事故について



総務産建常任委員会現地調査

常任委員会の動き

【民生教育常任委員会】

閉会中における各常任委員会の活動状況について、主要な調査事項などをお知らせします。
各常任委員会の記録は、町立図書館に配置しておりますので、ご利用ください。

町営斎場建替事業について調査を行いました。

【第22回】

(令和7年4月17日開催)

○第3期余市町子ども・子育て支援事業計画の策定について
(報告案件)

子ども・子育て会議を昨年5月から本年3月までの間、計4回開催し、計画案を役場、中央公民館、図書館、福祉センターのほか、町内幼稚園、保育所、児童館などを閲覧場所としてパブリックコメントを行ったところ2件の意見があったが、これに関わる計画の変更等はなく、計画案のとおり第3期余市町子ども・子育て支援事業計画を策定した旨の報告を受けました。

【他の審議案件】

(所管事務)

○特定教育・保育施設の認定子ども園への移行について
(報告案件)

○余市町国民健康保険税条例の一部改正について

○余市町健康づくり計画(いのちを支える余市町自殺対策行動計画)の策定について

【第23回】

(令和7年5月19日開催)

○公立学校情報機器整備事業について(所管事務)

令和2年度に整備した1人1台端末のバッテリー耐用年数が迫るなど機器の更新が必要であり、文部科学省の通知などに基づき国の補助金等を活用して令和7年5月1日現在の児童生徒数を基準として予備機器も含めて端末を調達すること、また国からの補助金の補助率は購入経費の3分の2で、補助上限は1台当たり5万5000円である旨の説明を受け、審議しました。

○北しりべし相談支援センター事業実績について(所管事務)

令和6年度の事業実績について、相談支援を利用している障がい者等の人数は余市町では合計274人であり、支援方法の内訳は訪問が1185件、来所相談が518件、同行が322件、電話相談が2540件、電子メールが278件、個別支援会議が123件、関係機関が790件、その他が3件の合計5759件となっており、5町村の合計は7124件である旨の説明を受け、審議しました。

○令和6年度一般ごみ・資源物の収集処理実績について(所管事務)

令和6年度の燃やすごみ収集

処理量は約3780トンで前年度比約88トン、2.3%の減であり、燃やさないごみの収集処理量は約614トンで前年度比約39トン、5.9%の減であり、粗大ごみの収集処理量は約249トンで、前年比約11トン、4.4%の減であり、一般ごみ全体では令和6年度と令和5年度を比較した場合、約138トン、2.9%の減である旨の説明を受け、審議しました。

○町営斎場建替事業について(所管事務)

町営斎場建替基本計画業務において候補地として選定している用地の地質調査について計画地内4か所のボーリング調査を行った結果、N値50以上の強固な地盤までの深さが4.8mから7.5mであったこと、また、5月8日に行われた指名競争入札で受託者が決定したことから、その業務の内容等について説明を受け、審議しました。

【他の審議案件】

(所管事務)

○第3次余市町子どもの読書活動推進計画の策定について

○小樽・北しりべし成年後見センター事業実績について

○余市町クリーンセンター整備

計画について

○余市町認知症サポーターのいるお店登録事業について
(報告案件)

○町立学校が依頼した卒業アルバム制作会社に対するサイバー攻撃について

○史跡フゴッペ洞窟施設整備工事について

○北後志衛生施設組合し尿等の処分について

○介護職員人材確保・定着支援事業について

【第24回】

(令和7年6月16日開催)

○資源物分別収集運搬処理業務について(所管事務)

議会においてリスク分散や委託料の高止まり、業務の透明性等について提言がなされていることを受け、今年度10月から新たな取組としてプラスチック製容器包装類の収集業務を分離するとともに、公募型指名競争入札に変更することで委託業務の透明性を図る方針とした旨の説明を受け、審議しました。

【他の審議案件】

(所管事務)

○小樽・北しりべし消費者センター事業実績について

一 般 質 問

第2回定例会での一般質問は、6人の議員から10件の町政全般に対する質問がありました。
一般質問は、一問一答方式により、質問、答弁を合わせ制限時間45分の範囲内で行い、議会だよりに掲載している内容の要約は質問した議員みずからが要約し、その原文を掲載しています。

尾森加奈恵議員 (よいち未来)

保育環境の整備と 人材確保について

質問 尾森議員 保育環境の整備と人材確保について、次の事項を伺いたい。

①現在の待機児童数と保育児童数について。

②待機児童、保育児童解消のための取組について。

③保育士の総人数と正規職員の人数について。

答弁 齊藤町長 ①6月現在で、待機児童数は6名、潜在的待機児童は16名です。

②要因である保育士の人材不足から保育学科への学校訪問や実習生の受入れを行っています。

③大川保育所は総人数18人、正規職員5名、中央保育所は総人数16人、正規職員6名です。

質問 尾森議員 ②小樽市では独自の就労定着支援補助金で保育士の定着を図っており、俱知安町では賃金補助や奨学金返済支援など多角的な施策を国の交付金で実施し待機児童ゼロに向けて取り組んでいるが、本町も処遇改善による保育士の確保、

定着と受け皿の整備を一体的に進める考えはないのか。

答弁 齊藤町長 ②保育士がやりがいを感じる必要な報酬を受け取れる仕組みや社会づくりが必要だと考えています。

質問 尾森議員 ③正規職員の比率を高める考えはあるか。

答弁 齊藤町長 ③町の採用枠が決まっているため全体のバランスを見るとともに、保育士の確保は経験年数や昇給等を整えて民間との役割分担を協議しながら体制の構築を進めています。

放課後児童クラブの 利便性向上について

質問 尾森議員 放課後クラブについて、次の事項を伺いたい。

①土曜日開設が6月から10月の隔週である理由について。

②土曜日に就労している保護者の児童の支援について。

③保護者が産休、育休中の場合には原則利用できないが、児童への影響に関する見解について。

④保護者のニーズや児童への影響の把握と対応について。

答弁 齊藤町長 ①利用希望が多い6月から10月に限定して令和7年度は試行的に土曜日開設を行い、持続可能な運営のため隔週開設としました。

佐藤 剛司議員 (明政会)

余市町内の教育・保育施設の 防犯・安全対策について

質問 佐藤議員 近年全国各地で教育、保育施設を狙った事件、事故が発生しており、防犯対策や児童生徒の安全確保は町の使命であると考えますが、町内教育、保育施設の防犯・安全対策について、次の事項を伺いたい。

①現状認識と取組について。

②課題と改善策について。

③今後の計画と町民への情報提供について。

④予算と人材について。

答弁 齊藤町長 ①保育所では通所、退所以外は出入口を施錠し、さすまたや催涙スプレーを常備しており、避難訓練は月1

回、防犯訓練は、本年度は年2回の実施を計画しています。

②日頃の訓練や計画マニュアルを緊急時に生かせるように行動し、児童の安全確保を第一に対応します。

③避難確保計画等を適時見直すとともに、情報提供はアプリを活用しながら他の方法も研究します。

④必要に応じて計上しており、人材育成は施設長セミナーや保育士キャリアアップ研修会等を実施し、職員全体で防犯や安全に対する意識向上に努め、児童の安全確保に努めます。

答弁 前坂教育長 ①教育施設ではインターホンでの来訪者確認、扉の施錠管理、さすまたの設置などの対策を講じており、避難訓練は年2回、防犯訓練は学校により実施状況は異なりますが警察官を招いた防犯教室などを実施しています。

②老朽化により更新が必要な箇所は計画的に整備しています。

③危機管理マニュアルの見直しを図るとともに、保護者や地域と連携し防犯意識の向上に努め、安心メールを通じて保護者への情報提供や警戒態勢を強化することにより被害の未然防止に努めています。

④各学校からの要望を受け計上

しており、人材確保、育成は教職員向けの研修やPTA、地域住民との連携強化を図り持続可能な体制づくりに努めます。

質問 佐藤議員 防犯カメラ設置の必要性とさすまたや催涙スプレーの使用訓練について。

答弁 齊藤町長 カメラの必要性、使用訓練は今後検討します。

答弁 前坂教育長 防犯カメラ設置は重大事態の抑止になり、他自治体、学校の状況を確認し検討するとともに、さすまた等は各学校で使えるように伝えます。

大物 翔議員 (無会派)

子育て支援人材の 処遇改善について

質問 大物議員 放課後児童クラブ指導員の慢性的な人手不足を解消し、働く環境と人員増加を同時に改善することが必要だと考え、次の事項を伺いたい。

①正規職員の指導員や補助員の配置割合について。

②指導員などの募集に関して需要のミスマッチがないか。

答弁 齊藤町長 ①児童クラブ

は全員が会計年度任用職員です。②資格者の応募が少ないため、町内周知を強化する考えです。

質問 大物議員 ①会計年度任用職員は本来責任を負うべき立場ではなく、役場側は実際に現場へ赴くことが少なく、現場に過度な負担がかかっていると聞

くので、責任を取るべき正規職員の配置が原則必要ではないか。

答弁 齊藤町長 ①会計年度職員であつても職務への責任はあると考えており、報酬や職業の魅力を上させる制度改善に取り組む必要があると考えます。

質問 大物議員 ②その業務を担うためだけに人を雇うのではなく午前中は他業務、午後は児童クラブなど、フルタイム化も検討していく必要があるのではないか。

答弁 齊藤町長 ②人材の配置については日々苦労しながら運営しています。

(仮称)卓・オウインドファーム事業 の準備作成に向けた調査進捗について

質問 大物議員 貴重な国有林を破壊してまで行うべきではなく、進捗も含めて情報の開示がされていないことから各種調査等の概要について伺いたい。

答弁 齊藤町長 河川の水質、動植物、風況観測などの調査を実施している旨の報告を受けており、夏頃に事業想定区域近隣の区会に向けた説明会を開催する予定であると伺っています。

質問 大物議員 過去の豊浜トンネル崩落事故など、積丹半島の地盤の軟弱性を踏まえ地盤、地質調査を行わせるように提言するべきではないか。

答弁 齊藤町長 景観や森林、水道への影響について厳しい条件を提示しており、言うべきことは今後も伝えていきます。

質問 大物議員 事業者が本場に地域貢献していると言えるものは出してこれないと考えており、国有林、保安林の解除は認めないと明言していただきたいが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 電力はなくてはならないものであり、電気をどこから持ってくるのか議論しなければならぬと考えています。

図書館で会議録や委員会記録が閲覧できます

議会だよりは一般質問や審議結果などを分かりやすくお伝えするため、内容を要約して掲載しています。

より詳しい内容をお知りになりたい方は、図書館に備え付けの会議録をご利用ください。

土屋美奈子 議員 (よいち未来)

防災体制の強化 について

質問 土屋議員 北海道が公表した「日本海沿岸地震・津波被害予測」では、余市町の死者は最大40人、全壊建物は860棟と想定され、小樽市ではこの発表に基づき備えを進めると公表しているが、本町では検証されたのか伺いたい。

答弁 齊藤町長 被害想定を検証し、改めて本町でも甚大な被害が生じる可能性があることを認識しており、今後地域防災計画の修正や備蓄数量の見直しを行う予定で、防災学習会等を通じて津波避難ビルや高台への早期避難の周知、啓発を進めます。

質問 土屋議員 昨年修正された本町の防災ガイドマップでは、これまで津波避難所には適さないとされていた比較的海岸から近い避難所も新たに津波の避難所と指定されたが、この経過をお知らせいただきたい。

答弁 齊藤町長 以前までは、津波の浸水エリア外であっても海岸や河川付近に位置する場合

は津波避難場所として指定していませんでしたが、避難の実効性を向上させることを目的に、津波の浸水エリア外の場合には避難可能と判断し、新たに19箇所を津波の避難場所として指定することで近隣の避難場所への避難が可能となり、避難時間の短縮につながるものと考えています。

質問 土屋議員 本町の自主防災組織について、どのくらいの組織が結成されているのかとその活動内容をお知らせいただきたい。

答弁 齊藤町長 現在、区会を活用し訓練や啓発、防災学習会を通じて協力しながら進めているところだ。

質問 土屋議員 避難行動要支援者名簿の最新化の状況と支援体制の整備について伺いたい。

答弁 齊藤町長 名簿には3061人を登録しており、そのうち1878人が名簿記載情報の提供、個別避難計画の作成に同意済みであり、個別避難計画は約111人(約5.9%)作成済みで、支援体制は関係機関と連携し整備中です。

質問 土屋議員 避難所の整備、運営体制について、地域で対応可能なマニュアルの必要性について見解を伺いたい。

は津波避難場所として指定していませんでしたが、避難の実効性を向上させることを目的に、津波の浸水エリア外の場合には避難可能と判断し、新たに19箇所を津波の避難場所として指定することで近隣の避難場所への避難が可能となり、避難時間の短縮につながるものと考えています。

答弁 齊藤町長 マニユアルは避難者を中心となる運営を想定し作成済みで、今後学習会や訓練で周知し各避難所に設置を進めます。

~~~~~

**ジャストミートあたる議員  
(無会派)**

**クーポン配布より水道料金減免の方が町民の為にいい**

**質問 ジャストミートあたる議員** 物価高騰対策として約2300万円の予算でお米クーポン券を全世帯に2000円分配付するが、水道料金を減免し、それを補填する形で町民に還元したほうが公平性も保ちつつ、スピード感や有効性が高いと思われるが、所感を伺いたい。

**答弁 齊藤町長** 提案するに至った経緯は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の交付限度額がこれまでと比較して少額、米価格の高騰で住民生活に影響が出ており、国は早期に支援を実施するようにと求められた財源で幅広く生活者支援を提案したところです。

**質問 ジャストミートあたる議員** クーポンは送料や印刷代が

かかり、やたらと無駄が多いように思えるが、どう思うか。

**答弁 齊藤町長** どの点で無駄が多いと判断しているか分かりませんが、答弁は差し控えます。

**質問 ジャストミートあたる議員** クーポン使用時に消費税として200万円ほど国庫に戻るが、無駄と思われ、水道料金減免にすれば、丸々町民に行き渡ると思われ、その浮いた金でギフト経済や医療費、処方箋薬を購入すれば消費税はかからず、町民への還元率が高いが、消費税がかかるクーポンは、質が悪い福祉ではないのか。

**答弁 齊藤町長** 水道料金の減免と比較考慮した場合、クーポンのほうが町民1人当たりに使える影響額のほうが大きいです。

**選挙の投票率向上と選挙の学校教育について**

**質問 ジャストミートあたる議員** 全国的に投票率の低下が続くが、直近の参議院選挙に向けて、投票率の向上と期日前投票の本人確認について伺いたい。

**答弁 網野選挙管理委員会委員長** イオン余市店にて期日前投票所を役場とともに設置することになり、そこで宣誓書に名前、

生年月日、住所を記入し、確認後投票してもらいます。

~~~~~

余市町の新しい道の駅について

質問 ジャストミートあたる議員 新しい道の駅の整備が白紙になった内容が非公表だが、町民に説明できないというのは今後許されないとかわれ、次回以降の協議についてはこのような規定を外すことは可能か。

答弁 齊藤町長 提案内容の公表については事業者のアイデアやノウハウに関する企業の機密情報が含まれるなど守秘義務が生じることから、協議内容の全てを公表することは困難です。

**庄 巖龍議員
(明政会)**

中学校のフッ化物洗口について

質問 庄議員 本町では町立保育所、小学校でフッ化物洗口は既に実施され、中学校では実施されていないが、虫歯予防のため4歳頃から開始し14歳頃(中

学校卒業時)まで継続することが効果的であると厚生省や北海道が推奨しており、虫歯は中学生以降に急速に有病になる傾向があることから、中学校でフッ化物洗口を実施することにより虫歯の低値化の一助となると考えるが、見解を伺いたい。

答弁 前坂教育長 本町では平成28年から小学校で実施し虫歯予防の有効性と安全性は広く認知されていると認識しています。

質問 庄議員 小学校での実施状況を伺いたい。

答弁 前坂教育長 週1回の実施で、現在では7割を超える実施率となっています。

質問 庄議員 中学校での実施に向けて具体的な話はあるか。

答弁 前坂教育長 年度初めに校長会で中学校のフッ化物洗口を検討する旨の提起をし、教育部長が学校へ出向き希望者の事前把握の必要性等について協議を行っています。

質問 庄議員 小学校で実施しているフッ化物洗口を行った児童が成人になっても虫歯がないと保護者から多く聞き及んでおり、4歳から14歳までに実施することは非常に効果があると考えるが、所見を伺いたい。

答弁 前坂教育長 14歳まで効果があれば中学校でも実施して

ほしいと要望を受けており、仁木町、赤井川村でも実施していることを含めて校長会と現在実施に向けた協議をしています。

質問 庄議員 14歳の中学生の75年後、12歳であれば78年後の未来の健康のために、公教育において中学校でのフッ化物洗口の実施を教育行政のトップとして尽力いただきたいが、見解を伺いたい。

答弁 前坂教育長 国の通達等により14歳まで継続実施することとは虫歯予防に大きな効果をもたらすことが示されており、健康格差を減らすことを含めて説明責任を果たしてまいります。

質問 庄議員 フッ化物洗口は保護者の選択であり、公教育において権利を尊重していただきたいが、見解を伺いたい。

答弁 前坂教育長 公教育の中で、保護者の希望には弾力的な対応をし、健康格差を減らす観点からも協議を進めます。

**議会を傍聴してみませんか。
《次の定例会は9月上旬です》**

本会議は役場3階の議会事務局で傍聴人受付簿に住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。

傍聴定員は38人となっており、会議当日の先着順となっています。

議員派遣型の懇談会

どこでも余市町議会

《議員が出向いて懇談します。》

- ◎対象団体 町内で活動している5名以上の各種団体
(例：区会、老人クラブ、各種経済団体等)
- ◎開催概要 場所は応募団体が指定する会場
時間は90分程度
テーマは応募団体の要望に基づくもの
※開催に関する詳細は事前に協議させていただきます。
- ◎申込方法 実施希望日の1ヵ月前までに議会事務局へ申込書を提出
(直接・郵送・FAX・メールのいずれかの方法)
- ◎その他 派遣に係る経費は無料です。
開催に係る会場費は、原則、応募団体の負担となります。
不明な点はお気軽に事務局へお問い合わせください。
- ◎申込書は以下からもダウンロードできます。

https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/gikai/gika_idayori/2024-6020-1303-26.html



議会日誌

5月

- 23日 議会運営委員会
- 26日 北海道新幹線建設促進後志・小樽期成会
総会
- 26日 北海道横断自動車道黒松内・小樽間建設
促進期成会総会
- 26日 後志総合開発期成会後志要望行動
- 27日 第4回臨時会
- 30日 後志総合開発期成会北海道要望行動

7月

- 8日 北海道町村議会議長会議員研修会
- 10日 北海道清里町議会行政視察来訪
- 11日 総務産建常任委員会
- 18日 北しりべし廃棄物処理広域連合議会
- 28日 北後志消防・衛生施設組合議会
- 29日 富山県氷見市議会行政視察来訪
- 30日 山形県米沢市議会行政視察来訪

6月

- 6日 後志総合開発期成会中央要望行動
- 10日 後志町村議会議長会臨時総会
- 10日 北海道町村議会議長会定期総会
- 13日 総務産建常任委員会
- 16日 民生教育常任委員会
- 20日 議会運営委員会
- 24日 議会運営委員会
- 23～25日 第2回定例会
- 25日 議員協議会

8月

- 6日 国道229号余市・岩内・島牧間整備促進
期成会総会
- 19日 総務産建常任委員会

編集後記

熱中症への注意喚起が連日報道される中、暑さ対策の重要性を改めて実感する季節となりました。社会では物価上昇や度重なる自然災害への備え、人口減少と地域経済の縮小など暮らしに直結する課題が改めて浮き彫りになっています。こうしたテーマに私たち地方議会がどのように答えていくのか、丁寧な議論と分かりやすい情報発信が一層求められています。

さて、現議会体制となつてから2年が経過し、今年には任期の折り返しの年に当たります。これまでの議会活動を振り返るとともに、町民の皆様の声をこれまで以上に丁寧に受け止め、政策へとつなげていく責任を再認識する節目の年でもあります。

8月には各常任委員会、議会運営委員会の委員が改選され、新たな構成での活動がスタートしました。委員の顔ぶれが変わることで議論の視点や課題へのアプローチにも新たな広がりが生まれることが期待されます。

今後とも町民の皆様の信頼に応えられるよう、一つ一つの課題に向き合いながら、より開かれた議会を目指し取り組んでまいります。

総務産建常任委員会

よいち町議会だより

No.216 (年4回発行)

令和7年9月1日発行

発行

余市町議会
総務産建常任委員会

〒046-8546 北海道余市郡余市町朝日町26番地
TEL 0135-21-2132
FAX 0135-21-2144
E-mail giji.gki@town.yoichi.hokkaido.jp